

食品ロスを考える。これで良いわけがない羽地中の牛乳。



成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより163号
R2. 1. 10



この写真を見て下さい。山積みされた学校給食牛乳です。給食で飲まれなかった牛乳を日々、蓄えているのでは、決してありません。その日の学級で飲まれなかった牛乳が職員室に集められ、一日でこれほどの量になるのです。その数、平均50個。学校給食は、安全衛生上、持ち帰ることは禁じられています。この牛乳も持ち帰ることができず、賞味期限が残っていてもその日で捨てられてしまうのです。牛乳1個の値段は58円。50個だと2900円の税金を無駄に毎日、捨てているのです。皆さんは、どう考えますか。

食品ロスとは、「まだ食べられる食べ物が捨てられてしまうこと」を言います。日本では年間600万トン以上の食べ物が捨てられているといわれています。

牛乳に含まれるカルシウムは、人間の体の成長・発達に欠かせない栄養素で、発達途中の中学生にとっても、必要な食べ物です。牛乳で摂ることができない人は、チーズなどの乳製品や小魚類、ほうれん草などの野菜で補わなくてはなりません。

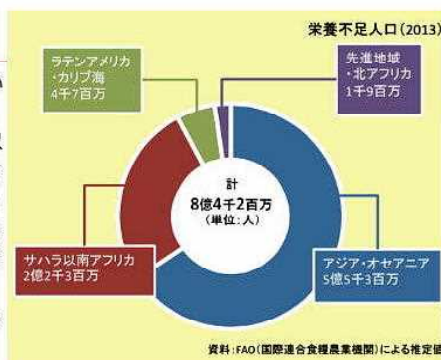
下の農林水産省のデータでは、世界で8億人以上の人々が満足な食事ができていないことを示しています。一方で、大量の食品がゴミとなって捨てられています。今一度、考えてほしい学校の牛乳です。

8億4千万人以上の人が困っています

世界には70億人程の人がいて、毎年増え続けています。そのうち8億4千万人以上の人が満足な食事ができずに困っていることを知っていますか？栄養が足りないと病気になったり、子どもが大きくならなかったり、困ることがたくさんあるのです。

食べ物を残すのは、もったいないね

日本では、一年間で500～800万トンの食べ物が捨てられています。食べられるものがゴミになってしまうのは、もったいないですね。好き嫌いをなくして残さず食べるようにすることが大切です。



食卓に出した料理を食べ残した理由



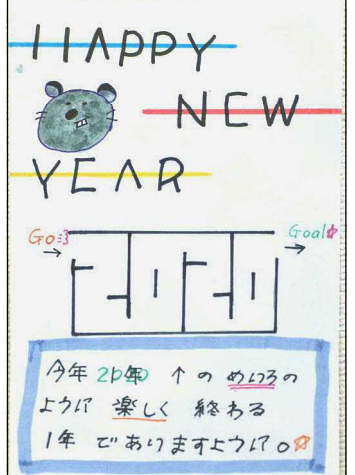
農林水産省のHPより



T・Kさん

国語の授業で創作された面白い年賀状を順次、紹介していきます。

年賀状紹介



A・Wさん